

気象集誌

第80巻 (平成14年) 総目次

2002

論文

Xin An Chen・Yi-Leng Chen：台湾域中規模実験強化観測期間5 (TAMEX IOP5) の下層ジェットの運動エネルギー収支……………	1	1—19
Vicente R. Barros・Alice M. Grimm・Moira E. Doyle：南アメリカ南東部に おける気温と大気循環場の関係とそれに対するエルニーニョおよび ラニーニャの影響……………	1	21—32
Hi-Ryong Byun・Dong Kyou Lee：有効水資源指標を用いた韓国における 3つの雨季と夏季モンスーン……………	1	33—44
筒井純一：熱帯低気圧活動に対する人為的気候変動の影響 —NCAR CCM2を用いた事例研究—……………	1	45—65
Renguang Wu：北太平洋西部夏季モンスーンの北東進の過程……………	1	67—83
D. W. Shin・Joong Bae Ahn：熱帯の降水予報における TRMM 観測の選択的利用……………	1	85—97
Shu-Hua Chen・Wen-Yih Sun：時間変化を取り入れた1次元雲モデル……………	1	99—118
安中さやか・花輪公雄：北半球海面水温場に見出されたレジームシフト……………	1	119—135
Ernani de Lima Nascimento・Tercio Ambrizzi：南半球冬季のブロッキングが ロスビー波伝播特性に及ぼす影響……………	2	139—159
青木輝夫・青木忠生・深堀正志・高尾俊則：南極昭和基地における UV-B の特徴： 数値シミュレーションとの比較……………	2	161—170
Dong-Kyou Lee・Hyun-Suk Kang・Ki-Hong Min：地域気候モデルにおける 海洋の粗度の役割：1994年夏の東アジアモンスーンのケース……………	2	171—189
広瀬 望・小池俊雄・石平博：永久凍土帯の微地形による土壤水分の不均一性が 与える空間平均蒸発量算定への影響……………	2	191—203
Xiaofan Li・C.-H. Sui・K.-M. Lau：熱帯の深い対流レジームにおける降水効率： 2次元雲解像モデルによる研究……………	2	205—212
Renhe Zhang・住 明正：エルニーニョ現象発生時の北半球冬季，春季， 秋季における東アジアの水蒸気輸送と循環場……………	2	213—227
北畠尚子：台風 Vicki (9807) の温帯低気圧化：構造変化と 上部対流圏の擾乱の役割……………	2	229—247
杉 正人・野田 彰・佐藤信夫：地球温暖化が熱帯低気圧の気候に及ぼす影響： 気象庁全球大気モデルによる数値実験……………	2	249—272
山本真之・橋口浩之・深尾昌一郎・芝野儀三・今井克之： 車載型3 GHz 帯ウインドプロファイラーの開発……………	2	273—283
浜田純一・山中大学・松本 淳・深尾昌一郎・Paulus Agus WINARSO ・Tien SRIBIMAWATI：インドネシアにおける雨季の時間 ・空間変動と ENSO との関連……………	2	285—310
福富慶樹・安成哲三：北半球夏季の西太平洋上における10-25日季節内振動による 熱帯一中緯度相互作用……………	2	311—332
Martin Charron・Elisa Manzini・Christopher D. Warner：重力波 パラメタリゼーションの相互比較：Hines によるドップラースプレッド スキームと Warner と McIntyre による超簡略スキーム……………	3	335—345

村田文絵・山中大学・藤原正智・荻野慎也・橋口浩之・深尾昌一郎・Mahally Kudsy ・Tien Sribimawati・Sri Woro B. Harijono・Eddy Kelana： 1998年9-10月に西スマトラ州コトタバンで行われたUHFレーダー，GPS レーウィングゾンデ及び雨量計との同時観測で見られた風と降雨の関係……………	3	347—360
秋吉英治：1次元光化学—放射結合モデルによって計算されたピナツポエアロゾル による光化学変動と気温変動……………	3	361—385
渡来 靖・田中 博：太平洋ブロッキングの形成期における順圧 —傾圧相互作用の特徴……………	3	387—402
J. D. Clark・P.-S. Chu：中部北太平洋域における tropical cyclone の年々変動 ……	3	403—418
松本 淳・村上多喜雄：赤道対称および非対称な OLR データによるモンスーンの 南北両半球間季節移動……………	3	419—437
岩崎博之・三木貴博：北関東の半盆地域における可降水量と対流活動の日変化の関係 —日没後に対流活動が活発化する機構についての予備的研究—……………	3	439—450
秋吉英治・菅田誠治・杉田考史・中島英彰・林 寛生・黒川純一・高橋正明： CCSR/NIES ナッジング CTM によってシミュレートされた 1997年北極渦崩壊後の低濃度 N ₂ O 空気塊 ……	3	451—463
戸田 求・西田顕郎・大手信人・谷 誠・虫明功臣：熱帯モンスーン地域・ 複雑地表面上での熱収支・蒸発散量測定……………	3	465—484
馬 耀明・塚本 修・石川裕彦・Zhongbo Su・Massimo Menenti・王介民・文軍： 衛星リモートセンシングと現地観測を統合した HEIFE 領域の 複雑地表面熱フラックス分布の算定……………	3	485—501
Gin-Rong Liu・Chung-Chih Liu・Tsung-Hua Kuo：衛星観測にもとづく Mei-Yu 期の MCS の発達ポテンシャルの客観的指数……………	3	503—517
坂元尚美・増田耕一：顕生代の古気候の復元における，海陸配置の変化に ともなう誤差の重要性……………	4	531—537
大橋唯太・木田秀次：山地と都市域が京阪地域の局地循環に及ぼす影響……………	4	539—560
Richard H. Johnson・Paul E. Ciesielski：南シナ海北部での 1998年夏のモンスーンの開始……………	4	561—578
稲葉洋之・川村隆一・栢原孝浩・植田宏昭：1999年夏季北陸地方で 観測されたフェーン現象の異常持続……………	4	579—594
山岬正紀：メソスケール対流解像モデルを用いた梅雨前線に伴う クラウドクラスターの数値実験……………	4	595—619
馬淵和雄・佐藤康雄・木田秀次：BAIM を導入した地域気候モデルにより 再現されたモデル気候値の検証……………	4	621—644
長谷川聡・田中 博：正規直交ウェーブレット展開を用いた太平洋ブロッキング 高気圧の形成の局所スペクトルエネルギー解析……………	4	645—667
高野 功：日本の南岸域で急発達した冬季温帯低気圧の解析……………	4	669—695
二宮光三・西村照幸・大淵濟・鈴木恒明・松村伸治：大気気候モデル T42L52における梅雨前線……………	4	697—716
直江寛明・松田佳久：現実的な流れにおけるロスビー波の伝播とブロッキング生成…	4	717—731
Qiong Zhang・Guoxiong Wu・Yongfu Qian：2つのモードを持つ100hPa 南アジア高気圧と夏季東アジアの気候偏差との関係……………	4	733—744
Theodore G. Shepherd：成層圏—対流圏結合の諸問題……………	4B	769—792
R. Alan Plumb：成層圏における輸送……………	4B	793—809
余田成男・田口正和・内藤陽子：対流圏—成層圏結合系の時間変動に 関する数値実験……………	4B	811—830

Karen H. Rosenlof : HALOE の水蒸気とメタンの測定から推測される輸送の変化 …	4B	831—848
William J. Randel · Fei Wu · Richard Stolarski : 成層圏の EP フラックスと 相関のあるコラムオゾンの変化 ……………	4B	849—862
D. Rind · P. Lonergan · N. K. Balachandran · D. Shindell : 二酸化炭素倍増と 大洋活動変動が波—帯状流相互作用を通して対流圏に及ぼす影響 ……………	4B	863—876
渡辺真吾 · 廣岡俊彦 · 宮原三郎 : GCM 中の大気大循環と 極域成層圏オゾン減少の年々変動 ……………	4B	877—895
塩谷雅人 · 藤原正智 · 長谷部文雄 · 橋爪 寛 · Holger Vornel · Samuel J. Oltmans · 渡邊朝生 : 赤道東太平洋におけるオゾンゾンデ観測 一照洋丸による調査— ……………	4B	897—909
A. Gettelman · P. M. de F. Forster : 熱帯対流圏界層の気候学 ……………	4B	911—924
津田敏隆 · Klemens Hocke : GPS 掩蔽データを用いた成層圏における温度変動の 鉛直波数スペクトルの解析 ……………	4B	925—938
John F. Scinocca : 非地形性重力波ドラッグの派ラメタリゼーションに おける反射の効果 ……………	4B	939—962
Karin Labitzke : 成層圏における11年太陽黒点周期のシグナル : 北半球と 南半球の夏の違い ……………	4B	963—971
黒田友二 · 小寺邦彦 : 冬季南北半球における太陽活動の極夜ジェット振動に及ぼす 影響について ……………	4B	973—984
内藤陽子 : 南半球の極夜ジェットの減速に対する QBO の影響についての 惑星規模波解析 ……………	4B	985—995
Darryn W. Waugh · Ping-Ping Rong : 下部成層圏の北半球極渦の 減衰に見られる年々変動 ……………	4B	997—1012
日尾泰子 · 廣田 勇 : 冬季南半球成層圏プラネタリー波の年々変動 ……………	4B	1013—1027
Huang-Hsiung Hsu · Shu-Ping Weng : 冬季成層圏南極季節内振動 ……………	4B	1029—1050
中村尚 · 本田明治 : アリュージェン・アイスランド両低気圧間のシーソー現象 第3部 : その成層圏循環への影響 ……………	4B	1051—1067
稲津 將 · 向川 均 · 謝 尚平 : 熱帯域や中高緯度域の海面水温分布が 中緯度ストームトラックに及ぼす影響 ……………	4B	1069—1076
田口正和 · 余田成男 : 簡略化した全気循環モデルを用いた環状変動に関する パラメータ走査実験 ……………	4B	1077—1088
荒井美紀 · 向川 均 : 擾乱によるブロッキング現象の維持機構の有効性について ……	4B	1089—1102
Johnny C. L. Chan · Wanxiu Ai · Jianjun Xu : 南シナ海における1998年夏の モンスーンの維持機構 ……………	5	1103—1113
Ming-Cheng Yen · Tsing-Chang Chen : 寒気吹き出しに伴う東アジアの熱帯 一緯度間相互作用の再調査 ……………	5	1115—1128
K.-M. Lau · Xiaofan Li · H. T. Wu : 1998年5月の南シナ海モンスーンに 関係した循環場, 雲構造および局地水循環の季節進行 ……………	5	1129—1147
Tim Li · Yongsheng Zhang : 南アジアモンスーンの準二年振動および長周期変動を もたらすプロセス ……………	5	1149—1163
鬼頭昭雄 : 大規模山岳の地表気候への効果—大気海洋結合大循環モデルによる研究 …	5	1165—1181
C. Prabhakara · R. Iacovazzi, Jr. · J.-M. Yoo : TRMM 降水レーダーとマイクロ波 イメージャーによる, 陸上の対流性と層状性降雨の観測とその理論的考察 …	5	1183—1197
谷本陽一 · 謝 尚平 : 大西洋域の海面水温, 海上風, 熱フラックス, 雲量に見られる両半球で同期した10年スケール変動 ……………	5	1199—1219

Jianhua Sun・Tae-Young Lee：コリア半島上の強い 準定常的対流バンドの数値実験	5	1221—1245
三角幸夫：レーダーエコー合成図上のメソ α スケールまでの降水雲の分布	5	1247—1259
児玉安正・玉置篤司：衛星観測にもとづく亜熱帯・中緯度域の降水活動の再評価	5	1261—1278
K.-M. Lau・Hengyi Weng：東アジアと北アメリカにおける夏季降水量変動と 関係するテレコネクション・パターン	6	1309—1324
Melinda S. Peng・Simon W. Chang：台風 HERB (1996) の数値予報実験	6	1325—1338
黒崎泰典・木村富士男：チベット高原における地形と日中の雲活動の関係	6	1339—1355
K. Rajendran・Ravi S. Nanjundiah・J. Srinivasan：大気大循環モデル NCAR (CCM2) による陸面水文過程が熱帯の季節内振動に及ぼす影響の評価	6	1357—1381
井上豊志郎・Steven A. Aakerman：東部太平洋中緯度における位置あわせをした ERBE と AVHRR のデータを用いて解析された Split Window データに よる各種雲型の放射効果について	6	1383—1394
篠田太郎・上田 博：中国大陸東部の湿潤域において夏季モンスーン期間中に 発生する深い対流雲の発達に影響を及ぼす要素について	6	1395—1414
T. N. Krishnamurti・L. Stefanova・Arun Chakraborty・T. S. V. V. Kumar・ Steve Cocke・David Bachiochi・Brian Mackey：北アメリカおよび アジアモンスーン域における降水量の季節予報	6	1415—1426
Byung-Ho Choi・Dong-Hoon Kim・Jeong-Woo Kim：地球温暖化による 北太平洋の地域的气候応答	6	1427—1442

要報と質疑

大橋唯太・木田秀次：海風前線の前面に形成される弱風域に関する数値実験	3	519—527
Xiushu Qie・Ye Yu・Daohong Wang・Huibin Wang・Cuihua Zhang・ Rongzhong Chu：中国内陸高原地帯における落雷特性	4	745—754
Stefan Hastenrath・Dierk Polzin・Lawrence Greischar：ECMWF 再解析データにおける赤道域東西循環の年サイクル	4	755—766
佐々木秀孝・清野直子・佐藤純次・千葉 長：三宅島における 火山ガス拡散モデルの開発	5	1279—1288
富田智彦・謝 尚平・野中正見：中緯度北太平洋における十年規模海面水温変動に 対する表層，亜表層強制の算定	5	1289—1300
金久博忠：対流性擾乱に対する Helicity 公式の非線形系への拡張	5	1301—1306

学会誌「天気」の論文・解説リスト

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2001年11月号・12月号)	137
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2002年1月号・2月号)	333
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2001年3月号・4月号)	529
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2002年5月号・6月号)	767
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2001年7月号・8月号)	1307
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2002年9月号・10月号)	1443